

# 清流

題字：芳野 充

平成30年6月30日

第18号

発行所 加来不動産(株)

発行者 加来 寛

北九州市小倉南区守恒本町1-12-23

穏やかに

静かに

清流のように

## グチや悪口はひかえる

「グチを言うのはよくない」「悪口を言えば自分に返ってくる」ということを耳にすることがありますが、気づけばグチや悪口を口にしていくわたしがいます。

素心学塾塾長の池田繁美先生は、人のことを悪く思っただけで、ついグチや悪口をいうのも、心のクセだと言います。それはなぜなのか、ということとを著書である『素心学要論』（モラロジー研究所）のなかで、このようにおっしゃっています。

「こちらの思いどおりにならない、自分の考えとはちがっている。そんなとき、相手をこころよくは思えません。しかし、よく考えてみると、こちらの都合を優先させようとしていた、あるいは相手の言うことを受け入れようとはしていなかった、ということが多いものです。相手のよさが見えずに、悪いところや欠点ばかりに目がいく。それは、自分の心がまだまだ未熟なままだからです。」

耳のいたい話ですが、たしかにそうだと感じます。前々号に書かせていただいた「音は心のバロメーター」では、妻にいたいところを突かれ、それに腹をたて悪態をつけて家を飛びだしたわたしの恥ずかしいエピソードを思い返すと、「わたしは間違っていない!」「分かったような口をきくな!」と、妻の言葉を受け入れようとせず、自己防衛本能むきだしでした。ですが冷静に考えると妻の意見は、会社やスタッフまたオーナー様のことを真剣に考えた末の意見でした。

このように心のクセがつよく働いてしまうと、自我を前面にだしてしまい、相手の良いところに気づきにくくなってしまいうことがよく分かります。幸いわたしはその後、すぐに妻に謝ることができたので、関係を修復できましたが、あの状態をほったらかしにしておくと、人間関係はくずれていき、余計に相手を受け入れることができず、何かにつけてグチや悪口に発展していったでしょう。結果、夫婦ゲンカのたえない、あるいは相手に無関心な家庭環境になっていくのだと思います。

グチや悪口はひかえる。そして相手の考えや意見をまずは受け入れ、良好な人間関係を築いていきたいと思えます。

加来 寛

